

日本人短期大学生・高等専門学校生対象
対日理解促進交流プログラム「JENESYS」国際交流事業
インドネシア・カンボジア・ミャンマー学生との
「日本語・日本文化（ポップカルチャー）」オンライン交流

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）では、対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：ASEAN 諸国）の実施団体として青少年交流事業を企画・運営しています。この度、インドネシア・カンボジア・ミャンマーとの国際交流プログラムに参加いただける日本人学生を募集します。

I. プログラム概要

1. 事業概要

(1) 概要・目的

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する人的交流事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を対象に、招へい・派遣、またはオンライン交流を行い、対日理解を促進するものです。人的交流を通じ、日本への関心・理解・支持を拡大し、対外発信の強化や我が国の外交基盤の拡充を目的としています。

JENESYS オンライン交流事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。JICE は本事業の一環として、日本と ASEAN 諸国の 3 か国（インドネシア・カンボジア・ミャンマー）との間で、将来を担う人材（短期大学生・高等専門学校生）と、日本語・日本文化をテーマにオンライン交流を実施いたします。

2. 交流国・応募要件等

(1) 交流国、テーマ、対象者、人数、交流日程

交流国	プログラム詳細	
インドネシア  カンボジア  ミャンマー 	テーマ	日本語・日本文化（ポップカルチャー）交流
	プレプログラム	1 回目・2 回目（10 月実施） ※2 回目は東京都内での対面交流を予定しています（交通費支給）。
	本プログラム	2026 年 12 月 1 日（火）～12 月 7 日（月） ※平日 18 時～20 時にて実施予定、詳細は（2）にてご確認ください。
	対象者	インドネシア、カンボジア、ミャンマーの大学生・大学院生に、日本語や日本文化（アニメ・漫画等のポップカルチャー）の魅力を紹介したい日本人短期大学生・高等専門学校生
	参加人数	10 名～15 名程度 ※インドネシア・カンボジア・ミャンマーの参加者については、日本語学習者や日本文化に興味・関心の高い大学生・大学院生を選考予定です。

(2) 標準日程（詳細は別紙 3 参照）

プレプログラム（オンライン・対面） ※平日実施			
1 回目	2026/10/上旬（予定）	オンライン	プログラムオリエンテーション
2 回目	2026/10/20（火）※	対面実施	JENESYS 訪日者との交流等（都内予定・交通費支給）
本プログラム（オンライン） ※平日 18 時～20 時半を予定			
1 日目	2026/12/1（火）	オリエンテーション、自己紹介、交流（日本語レッスン、日本文化紹介）	
2 日目	2026/12/2（水）	交流（日本語レッスン、日本文化紹介）、講師による日本文化講義等	
3 日目	2026/12/3（木）	交流（4 カ国バーチャルホームツアー等）	
4 日目	2026/12/4（金）	ワークショップ	
5 日目	2026/12/7（月）	報告会	

※プレプログラム 1 回目については、参加決定した後に日程を調整いたします。2 回目の対面交流については参加必須ではありませんので、対面交流に参加できない方でもご応募いただけます。

※プログラム内容や日程については、変更が生じる可能性があります。

※短期大学生・高等専門学校生の他、大学生・大学院生も参加いたします。

※全てのプログラムに参加した方には「デジタルバッジ」をお渡しします。

(3) 実施方法

プレプログラム 1 回目、本プログラム：オンラインツール「Zoom」使用

プレプログラム 2 回目：対面実施

(4) 参加者必須課題

以下の事前準備、プログラム中の活動、事後活動は全て参加者の必須課題です。

①事前準備

- ・カンボジア・インドネシア・ミャンマーに関する事前学習
- ・日本語・日本文化紹介の準備

②本プログラム中の活動

- ・日本語・日本文化に関する紹介、ホームツアーの実施（希望者のみ）
※日本語レッスンや日本文化（アニメ・漫画などのポップカルチャー）に関する紹介を行っていただきます。
※ホームツアーは、日本・インドネシア・カンボジア・ミャンマーの各参加者に自宅をご紹介します。
- ・参加中アンケートの回答

③事後活動（本プログラム終了後）

- ・プログラム終了 3 ヶ月後アンケートの回答
- ・アクション・プラン実施報告書の提出（終了後 3 ヶ月以内に実施）

(5) 応募要件

以下の応募要件を全て満たしている者を対象とします。

- ① プログラム参加時に正規課程に在籍する短期大学生・高等専門学校生※1。
- ② 本事業の趣旨・目的を理解した上で、上記（4）の必須課題を行える者（35 歳以下）。
- ③ 日本国籍を有する者。
- ④ プレプログラムおよび本プログラムの全日程に参加できる者。但し、プレプログラム 2 回目（2026/10/20）の対

面交流については参加必須ではありません。

- ⑤ 日本政府の実施または推進する派遣事業※2 において参加経験がない者。ただしオンラインプログラム参加者は可。
- ⑥ SNS での対外発信ができる程度の英語力がある者、または、インドネシア語・カンボジア語・ミャンマー語を学んでいる者。
- ⑦ インドネシア・カンボジア・ミャンマーに対する興味・関心および学ぶ意欲を有する者。日本と各国との交流において、積極的に友情を育むことができる者。日本の魅力を積極的に伝え、プログラム前後においても SNS（Instagram、Facebook、YouTube、ブログ等）を活用し、積極的に情報発信ができる者。
- ⑧ 後述の「参加者の責任及び留意事項」、別紙 1 の「個人情報の取り扱い」に同意できる者。

※1 所属先発行の在籍証明書をもって、在籍を確認します。

※2 海外渡航プログラム例：対日理解促進交流プログラム（JENESYS（ASEAN、韓国、中国、太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）、カケハシ・プロジェクト、Juntos!!）、日露青年交流事業、日本語パートナーズ（国際交流基金）、JASSO 海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN（官民協働海外留学支援制度）、内閣府青年国際交流事業、アフリカユースプログラム「Japan-Africa Youth Program」等

II. プログラム費用

無料

※ただし、インターネット接続費用、プレゼンテーションや実演に必要な資材等の費用は参加者負担となります。

III. 応募・選考方法

1. 応募方法

（1）応募締め切り： **2026 年 8 月 6 日（木）12 時**

（2）応募方法：以下の申し込みフォームのリンクから必要事項を入力し、送信してください。

申し込みフォーム： [JENESYS エントリーフォーム](#)

※フォーム上での入力時間が長時間に及ぶと応募が正常に送信されない場合があります。入力内容をあらかじめご準備の上、入力を開始されることを推奨します。

（3）応募時提出書類：以下の応募時提出書類については上記サイト内からアップロードしてご提出ください

①顔写真

②オンライン交流誓約書（別紙 2）

※ 各種提出書類は PDF または JPEG に加工し、応募フォームからアップロードしてください。

※ 「在籍証明書」については、参加が決定次第ご提出をお願いします。応募時には必要ありません。

※ ご提出いただいた各種書類は返却しません。当センターにて大切に保管します。

2. 選考方法

応募者多数の場合は応募書類にて選考します。

3. 参加決定または選考結果通知

本事業に申し込みをした全ての応募者に対し、メールにて8月上旬～中旬を目途に通知します。

なお、応募者は選定の理由については不問とし、選考結果について異議申し立てはできません。ご了承ください。

IV. 参加者の義務・遵守事項

参加者の皆様には、以下の事項についてあらかじめご理解・ご承知の上、プログラムにご参加いただきます。

1. 自己都合による辞退について
原則、参加決定後の自己都合による辞退は認められません。
2. 参加資格の不備・規定違反について
応募内容に虚偽があった場合、または参加決定後に応募資格を満たさない事実が判明した場合、提出物の期限を遵守いただけない場合には、参加資格を取り消します。
3. 事前連絡義務について
プログラム開始前に連絡が取れない期間がある場合は、必ず事前に JICE 担当者へ緊急連絡先等をご連絡ください。
4. 授業との調整について
参加に伴い授業を欠席する場合の取扱いや単位認定等については、各自で所属機関（大学、大学院等）と事前にご相談の上ご判断ください。

V. 問い合わせ先

〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目 7 番 1 号 新宿第一生命ビルディング 16 階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課

JENESYS 派遣・オンライン交流担当（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）

※お申し込みに関するお問い合わせは[こちら](#)のフォームよりお問い合わせください。

※選考内容に関するお問い合わせについてはお答えできかねますのでご了承ください。

※土日祝日にいただいたお問い合わせには翌営業日以降に対応いたします。

参加者の皆様へ

一般財団法人日本国際協力センター

個人情報の取扱いについて

当センターでは、プライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取扱いを期しています。本プログラムにご参加いただく皆様には、下記の事項をご理解いただき、個人情報の当センターへの提供にご同意いただきますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりした個人情報は、「当センターが実施する国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業含む）の実施・運営」に利用いたします。具体的な業務は以下のとおりです。

- (1) 国際交流事業にかかる参加調整
- (2) 旅行手続き（対面で実施するプログラムのみ）
- (3) 各種資料やアンケートの送付/回収
- (4) 緊急連絡
- (5) 事業実施報告書や広報媒体（ウェブサイト、年報、広報誌、SNS アカウント等）への写真・動画掲載
- (6) その他、当センターが実施する国際研修運営や留学生受入支援、国際交流、多文化共生、開発教育、コンベンション・センター等の事業に関する情報提供やご案内

当センターは、皆様からお預かりした個人情報を、国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業を含む）遂行の為に委託することがあります。

また、当センターは、国際交流事業を遂行する上で、下記に記載の条件で、皆様からお預かりした個人情報を書面による手交、郵送、FAX またはメール等にて提供することがあります。なお、日本国外にてプログラム遂行する場合は当該国に提供することがあります。外国にある第三者への提供に関する参考情報は下記のとおりです。

- ① 提供する個人情報項目：氏名、年齢、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス、学校名、語学資格/経験、団体活動/国際交流事業/渡航経験、健康状態、パスポート、事業実施期間中に当センターまたは第三者が撮影をさせていただく写真・映像など
- ② 提供目的：実施運営上の参加者情報の共有、参加者の選考、アンケートの実施、JICE 事業関連資料の作成、事業実施後に当センターにて作成を行う実施報告書や当センター広報媒体（ウェブサイト、Facebook、Instagram、事業報告書、その他広報誌等）、外務省広報媒体への掲載
- ③ 提供先：事業実施運営関係機関（外務省、在対象国日本大使館、現地関係機関等）、および実施運営関係者、旅行会社、講師、視察先の企業・団体・交流先の学校関係者、ホストファミリー、印刷関連業者、参加者間
・事業参加者を日本国外に派遣する場合の外国にある第三者への提供に関する参考情報
 - (1) 当該国の名称：ASEAN 諸国
 - (2) 当該国の個人情報保護に関する制度の情報
参照：個人情報保護委員会 URL
[諸外国・地域の法制度 | 個人情報保護委員会](#)
 - (3) 当該国の第三者が講じる個人情報保護のための措置に関しては、視察先企業・団体等が未確定で提供先が特定できないため、情報を提供できません。

当センターへの個人情報の提供は皆様の自由なご判断に任されます。ただし、個人情報の一部を提供していただかない場合は、国際交流事業（プログラム参加後のフォローアップ事業を含む）の募集選考・実施において適切な判断ができないことがあります。

皆様には、当センターに提出して頂いた個人情報について、利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、項目の追加・削除、また個人情報自体の消去や利用停止、提供停止、第三者提供記録の開示を求める権利があります。自己の個人情報の開示等の請求をおこないたいときは、下記の問合先までご連絡ください。

（個人情報相談窓口） 一般財団法人日本国際協力センター 総務部 個人情報相談窓口

TEL：03-6838-2702（平日 9:30～12:30、13:30～17:30）/ E-mail：privacy@jice.org

（JENESYS プログラムに関するお問合せ先）一般財団法人日本国際協力センター 国際交流部 青少年交流課

派遣・オンライン交流担当窓口（平日 9:30～12:30、13:30～17:30） お問い合わせフォーム [こちら](#)

対日理解促進交流プログラム「JENESYS」

オンライン交流プログラム誓約書

私は、対日理解促進交流プログラム「JENESYS」に参加するにあたり、以下の事項を十分に理解し、誠意をもって遵守することを誓約いたします。

1. 参加者の義務・遵守事項について

募集要項に記載された「Ⅳ. 参加者の義務・遵守事項」の内容を理解し、これに従うことを誓約します。

2. 個人情報の取り扱いについて

別紙 1 に記載された「個人情報の取り扱いについて」に同意し、個人情報が適切に取り扱われることを承諾します。

3. 事務手続きへの協力について

以下の事項に誠実に協力することを誓約します。

- ・必要書類の提出は、指定された期限内に円滑に行うこと。
- ・プログラム開始前に連絡がとれない期間がある場合は、事前に JICE 担当者へ報告すること。

4. プログラム成果の活用及びプログラム後の協力について

- ・活動内容やアンケート結果等が報告書や広報資料に活用される可能性があることに同意します。個人が特定される形で情報公開は、事前承諾の上で行われることを承知します。
- ・プログラム終了後には報告書やアンケート等を期限内に提出します。

以上の内容を理解し、誠意をもって遵守することをここに誓約いたします。

2026 年 月 日

氏名： _____

(本人の直筆必須)



対日理解促進交流プログラム「JENESYS」

日本人短期大学生・高等専門学校生対象

インドネシア・カンボジア・ミャンマー学生との

「日本語・日本文化（ポップカルチャー）」オンライン交流 標準日程案



			プログラム	ねらい・内容
プレプログラム（計2日間、平日実施）				
1回目	10月 (オンライン)	1時間半	【オリエンテーション】初回オリエンテーション	JENESYSの事業概要、参加者ミッションについて理解し、参加者としての自覚と意欲を高める。
2回目	10/20 (火) (対面交流)	半日程度	【交流】来日するJENESYS参加者との交流（都内実施を予定）	招へいプログラムで来日する学生との対面交流を通じて相互理解を深める。
オンライン本プログラム（計5日間）平日の18時～20時半を予定				
1日目	12/1 (火) 18時-20時半	0.5時間	オリエンテーション	事業主旨・目的を再確認し、プログラム参加者としての自覚・意欲を高める。
		2時間	【学生交流】 ・自己紹介 ・日本語レッスン、日本文化（アニメ・漫画を含むポップカルチャー）紹介 ・インドネシア、カンボジア、ミャンマー文化紹介	日本学生による日本語の授業やグループ交流での会話を通じて、日本語・日本文化への興味関心と日本語学習へのモチベーションを高めてもらう。
2日目	12/2 (水) 18時-20時半	2時間半	【学生交流】 【講師による日本文化に関する講義】 ・日本語レッスン、日本文化（アニメ・漫画を含むポップカルチャー）紹介 ・インドネシア、カンボジア、ミャンマー文化紹介	日本学生による日本語の授業やグループ交流での会話を通じて、日本語・日本文化への興味関心と日本語学習へのモチベーションを高めてもらう。 講師による日本文化に関する講義を受け、意見交換を行う。
3日目	12/3 (木) 18時-20時半	2時間半	【4カ国バーチャルホームツアー】 【ワークショップ準備】	日本を含め4カ国の参加学生宅をオンライン上でホームビジットし、各国の生活事情を知る。共通点・相違点から気づきをまとめる。
4日目	12/4 (金) 各自実施		【ワークショップ①】 報告会準備（プログラム成果のとりまとめ、今後の活動計画（アクション・プラン）の作成）	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン（プログラム参加後の活動案）について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
5日目	12/7 (月) 18時-20時半	1時間	【ワークショップ②】 報告会準備（プログラム成果のとりまとめ、今後の活動計画（アクション・プラン）の作成）	
		1時間半	【報告会】 プログラム成果・アクション・プラン発表	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本国大使館、交流関係者等へ報告する。

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。